



えにし
災害ボランティア団体 縁プロジェクト主催

参加費 無料

私たち「縁プロジェクト」と一緒に防災について考えませんか？

出前防災セミナー

大田区 平成 28 年度大田区地域力応援基金助成事業

希望団体大募集!



自治会町会、地域サークル、同好会、学校・・・どんな団体でOK!
大田区内であれば、どこへでも行きます。

- ◆基本は2時間コースです。ご希望に応じて柔軟に対応します
- ◆土曜日、日曜日は10:00以降に実施。午前午後どちらも対応します
- ◆平日は19:00以降でお願いします
- ◆会場 区営施設、特別出張所の会議室、学校など、・・・どこでも対応します
- ◆定員 5名~100名(何人でも対応します)
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 無料
- ◆企画運営 大田区社会教育関係団体 縁プロジェクト

出前防災セミナー(2時間コース)の例

【事例1】(講話とゲーム)

10:00 開講
講話(東日本大震災)
10:45 クロスロードゲーム
OR 避難所運営ゲーム
11:40 感想の共有
12:00 閉講

【事例2】(救命法と講話)

10:00 開講
救急救命法講習
11:00 講話(東日本大震災)
11:40 感想の共有
12:00 閉講

【事例3】(講話と街歩き)

10:00 開講
講話(東日本大震災)
11:45 街歩き
11:40 感想の共有
12:00 閉講

大田区では、「地域防災計画」における大震災時の被害想定で30,000件を超える火災と、1,000人を超える死者が出ると想定されています。

世代や職種を超えたネットワークと災害時のスキルという貴重な「財産」を培ってきた私たち「縁プロジェクト」だからこそ、「記憶」を風化させず、防災スキルを区民に広めることができます。

地域の「防災意識」を高め、起こりうる災害後の速やかな救護活動、復興活動につなげ、区民と共に大田区を災害に強い区にしていきたいと思っています。

【よくある質問】

Q 「縁(えにし)プロジェクト」ってどういう団体ですか？

大田区では、2011年3月11日の東日本大震災発災以降、区と区民が一体となって、被災地、被災者および避難者の支援ボランティア活動を行ってきました。その活動は現在も続いており、宮城県東松島市と大田区は深い「縁(えにし)」と「絆」で結ばれています。

縁プロジェクトは、東松島現地ボランティア活動のメンバーが中心となって、2012年1月に設立したボランティア団体です。大田区の社会教育関係団体にもなっています。

大田区及び大田区被災地支援ボランティアセンターと協働し、さまざまな活動を行い、将来も展望しながら、相互交流事業を展開してきました。

2013年からは、被災地で学んだことを大田区の地域防災に生かす取り組みもしています。東松島市だけでなく、伊豆大島(2013)やフィリピン(2014)、南相馬市と常総市(2015)の被災地でも災害ボランティア活動を行い、メンバーのスキルアップを図り、大田区民へ還元できるように備えています。

Q 「講話」とは、どんな内容なのでしょう？

縁プロジェクトとして、東松島市での被災地支援ボランティア活動およびそれ以外の地域での支援活動で得たことを話します。

それは、単に被災地支援ボランティアの経験談だけではありません。その経験を蓄え、それを防災の取り組みに活かしながら、今後予想されている首都直下型地震での大田区内の被害想定をじっくり考えて、自分の命とまわりの人たちの命をいかに守ることができるかを考える内容になっています。



Q クロスロードゲームと避難所運営ゲームの内容を教えてください

〈クロスロードゲーム〉

「クロスロード」とは、分岐点・分かれ道、という意味です。さまざまな災害時のジレンマを伴う重大な決断の場面を問題として提出し、自分以外の誰かになり切ってそのジレンマを経験し、そして判断&決断をするゲームです。

〈避難所運営ゲーム〉

大災害時における災害避難所の運営に関しては、東日本大震災でもさまざまな問題が巻き起こり、避難所を運営するリーダーのみなさんは、苦悩の連続だったそうです。避難所を運営する上でさまざまな問題をカードで示し、それを時系列にしたがって避難所運営リーダーとして判断していくゲームです。

Q2 あなたは避難所運営リーダーです。

ここには避難者が300名。
けれど、非常食は200食しかない。

非常食を配布する？



Q 街歩きとは具体的に何をするのでしょうか？



地域を歩き、どこが危険箇所なのかを観察し、消火器や消火栓が設置されている場所を確認します。また、病院・診療所、コンビニなどの災害時に拠点となるような施設も確認します。さらに、高低差や河川の流れなどその地域の地理的特性を知り、街の成り立ちや街の発達の仕方など、歴史的特性も学ぶことによって、それを防災につなげていく方法を学びます。